

第三回

高校生東西俳句決戦in大垣

2026

開催

春休みの高校生のための全国区の俳句大会

競え! 十七音の心・技・体!

あなたもぜひご鑑賞ください!!

目的

岐阜県大垣市は、「奥の細道」のむすびの地として知られています。この地で「蛤のふたみにわかれゆく秋ぞ」と詠んだ松尾芭蕉は、およそ5か月にわたる長旅を締めくくり、舟に乗って大垣を後にしました。それから330年余りが経つ今日も、大垣は「俳句のまち」であり続けています。全国各地で俳句を親しむ高校生が「俳句のまち」大垣に集い、当地に蓄積された歴史を感じながら、豊かな言葉の世界を展開すること。それは、高校生をはじめ、俳句を愛するあらゆるものの好奇心と創造性を刺激するのではないのでしょうか。



令和8年 3月22日 日

9:50~16:30(受付9:20)

会場 / 大垣市総合福祉会館・奥の細道むすびの地記念館

大垣市馬場町124

大垣市船町2丁目26-1

高校生3名1チーム ※夏の俳句甲子園の方式で行います。

堅雪 春出水 氷解く 山焼き
芝焼く 麦踏 塗り 牛蒡蒔く
わかめ刈 きり 桑摘み
蚕卵紙 春挽 幾菜摘み 初笈

審査委員長
高田 正子氏



副審査委員長
小山 正見氏



1959年 岐阜市生まれ
1990年 「藍生」(黒田杏子主宰)創刊と同時に入会
2023年 「藍生」終刊まで所属
2024年1月 「青麗」創刊主宰
公益社団法人俳人協会理事・NPO法人季語と歳時記の会理事
公益社団法人文藝家協会会員・中日新聞俳壇選者・田中裕明賞選者
俳句甲子園審査員長他

1948年 川崎市生まれ
千葉大学教育学部卒
1972年より東京都公立小学校教員
2010年 東京都江東区立八名川小学校長を最後に退任
2012年 日本学校俳句研究会設立 代表
2010年~2022年 江東区教育委員会俳句教育推進員

現在
日本学校俳句研究会代表
きごさい全国小中学生俳句大会選者・実行委員長
深川芭蕉小中学生俳句大会選者
現代俳句協会会員
俳誌「梓」同人

著書
『どの子もできる十分間俳句』
『俳句でみがく言葉の力』
句集『大花野』他

**ボランティア
スタッフ
募集!**
ボランティア証明書を
発行します



ホームページ
詳しくはこちら

主催 / 高校生東西俳句決戦in大垣 実行委員会 主管 / NPO法人水都まちづくり

後援 / 岐阜県教育委員会 大垣市 大垣市教育委員会 奥の細道むすびの地俳句協会 岐阜県俳句作家協会

NPO法人俳句甲子園実行委員会 大垣東ライオンズクラブ 名古屋芸術大学 東海学院大学 東海学院大学短期大学部

高校生東西俳句決戦in大垣実行委員会事務局 大垣市旭町1丁目5番地 TEL 0584-71-8677 E-mail : touzai.haiku@helen.ocn.ne.jp